

# 女性と若い世代の参加が大幅増!!

## 親しみやすく役に立つ同窓会への進化、着々と 新会長に多賀谷氏(82期)



7月5日(金)午後6時より、東京・日比谷公園向かいの日本プレスセンタービルにて、平成25年度関東同窓会総会・懇親会が開催され、60期から110期まで、200名を超える同窓生がごつとつた。

今年の特徴はなんとといっても、女性や若い世代の参加者が増えたこと。会場のあちらこちらで談笑する、はつらつとした姿が目立った。これは、八牧浩行前会長(82期)のもとでここ数年にわたって続けられてきた、「関東同窓会を、ほっとする、これまで以上に有意義な集まりの場にしたい」というさまざまな努力の、大きな成果といえるだろう。

今回の総会で選任された多賀谷秀保新会長(82期)

も、その就任挨拶で、「伝統を大切にしながら、さらに居心地のいい同窓会をめざしたい」と語り、女性や若い世代の参加をいっそう促していく考えを示した。年若い後輩を早い時期から幅広くサポートしたい、という趣旨で昨年1月に始まった関東同窓会の「異業種交流会」についても、「この貴重な同窓生ネットワークを、大学等への在学中からぜひ積極的に活用してほしい」と考えている。

いっぽう、今回の同窓会総会・懇親会では、饗饌たる大先輩がたの存在感も、大いに光を放っていた。乾杯のスピーチで、「一昨日も、北アルプスを歩いてきました」と語った最年長出席者、上杉重吉氏(60期)。

その洒脱な語り口とスマイルな立居振舞は、居並ぶ同窓生に、「自分もこのよう

に年を重ねたいものだ」という、大きな希望と目標を抱かせた。

静岡からは、静岡の現在の校長である水元敏夫氏、本部同窓会の荻野寛会長、三浦俊一事務局長、清水敏

久しぶりに会う仲間たちと



久しぶりに会う仲間たちと



思い出話に花が咲く

静中・静高  
関東同窓会  
**会報**

静中・静高関東同窓会  
会報 第76号  
平成25年12月15日発行  
編集人 八牧浩行 (82期)



平成25年度 関東同窓会総会・懇親会  
91期 土崎 弘子



水元母校校長、荻野本部同窓会長ら来賓の方々

之事務局員、中部支部の加藤政幸支部長が来賓として出席。さらには小嶋善吉前静岡市長も会場にかけつけて、この夜の集まりに花を添えてくださった。総会に引き続き行なわれた講演では、日本テレビの名物プ



最年長出席者の上杉重吉氏

ロデューサーとして、〈天才・たけしの元氣が出るテレビ!!〉〈進め！電波少年〉など、型破りな番組の数々を手掛けた土屋敏男氏（91期）がトレードマークの金髪姿で講演者として登場。彼の仕事の原点がじつは静岡の「仮装行列」だったとの話に、会場は大いに盛り上がった。



「黒はんぺん料理」は大人気

郷土の味「黒はんぺん料理」に舌鼓を打ち、逍遙歌や校歌を久々に大声で歌った懇親会では、忘れかけていた自分のルーツをあらためて確認。「初めて参加したが、予想以上に楽しく、元氣が出た」という声があちこちで聞かれる嬉しい一夜となった。

（関連記事3〜4頁）

〈ごあいさつ〉

# “居心地の良い”同窓会を目指して

## 会長 多賀谷 秀保



この度、八牧会長の後を引き継ぎ会長を務めることになりました。82期の多賀谷秀保です。会長就任に当たり、一言ご挨拶を申し述べさせていただきます。

この3年間、八牧会長の下で理事を務めさせていただきましたが、この3年間の静中・静高関東同窓会の進化・発展を肌で感じる事ができました。

その中の一つが、「異業種交流会の開催」であります。今まで役員以外の同窓生にとっては、年1回開かれる総会以外には、世代を越えた交流の場はありませんでしたが、この異業種交流会の開催により、世代を越えた同窓生の交流の機会がもたらされました。参加された方々からも歓迎の言葉が聞かれました。

次が、時宜を得た理事会の開催であります。この開催により、役員と同窓会への参画意識が高まり、役員のみならず同窓生間の絆がより強まってきたと感じることができました。

このような諸活動の甲斐あって、2013年の総会への出席者は、200名の大台を超えました。

静中・静高の伝統に守られながら、進化・発展をしていく関東同窓会にとっての次のステップは、若い世代と女性の参画ではないかと考えております。

これまでも時代の流れと共に進化してきた静中・静高の伝統を守り継ぐためには、次代を背負う若い世代の活力は不可欠であります。仕事を抱えた若い世代にとって、同窓会活動への参画は決して楽なことではありませんが、予定を早めにはっきりさせる等の工夫をして、できるだけ参画しやすいようにしたいと考えております。

また、世の中各方面で女性の活躍が目立っておりますが、静岡のOGもいろいろな方面で活躍されておられます。静岡の女性の歴史は、68期に始まりましたが、8名から始まった女生徒の数は今や40%に達しています。この流れを関東同窓会の中に取り込む事は、時代の要請と思えます。門戸を大きく広げ、女性の参画を促していこうと考えております。

これまでも多くの先輩の方々が永い時間をかけ築き上げてきた伝統を守りながら、それに安住することなく、時代の流れと共に進化し、同窓生の皆様に、「居心地の良い」世代の垣根を越えた交流の場が提供できる同窓会を心掛けてまいりますので、よろしくご協力の程お願い申し上げます。会長就任の挨拶とさせていただきます。

## 講演要旨

「テレビ60年の歩み、そしてこれから」  
～伝説の番組「電波少年」T部長が裏話満載で語る～

土屋 敏男氏 (91期)

LIFE VIDEO代表取締役ディレクター・  
日本テレビ編成局専門局長

私のクリエイティブの原点は、  
静岡の仮装行列。「今までにな  
いものを作りたい」との思いで、  
先頭に立って企画した。本番で  
は大失敗してしまったが、これ  
こそが自分の原点であり、大学  
を経てテレビ界に入っても、そ  
の思いがずっとあった。

## バラエティ番組の進化の道筋

今年日本のテレビ放送60周



きたーと変遷した。  
講演者の軌跡、大学卒業後から  
「電波少年」まで

日テレ入社後、演出力に秀で  
たディレクターだったテリー伊  
藤のもとで「元気が出るテレビ」  
を手掛け、視聴率20%を達成し  
たが、独り立ちした30代前半は  
2度の大コケ。しかしその中で、  
萩本欽一の演出力に触れた。

30代後半の1992年に、ま  
だ無名だった松村邦洋と松本明  
子を起用して「進め！電波少年」  
がスタート。「予定調和」だっ  
たそれまでのテレビの常識を裏  
切る「アポなし企画」に中・高  
生がまっさきに反応し、しだい  
に大きな話題を呼んだ。その時、  
自分の中で、「スターがテレビ  
を作るのではなく、テレビがス  
ターを作る」という仮説が生ま  
れ、じつはそれが真の転換点と  
なった。

その後、⑤ロケ・バラエティ  
(天才・たけしの元気が出るテ  
レビ!!)、⑥スタジオ「楽屋オ  
チ」バラエティ(オレたちひょ  
うきん族)⑦ドキュメント的喋  
り、⑦ドキュメント連続バラエ  
ティ(進め！電波少年)⑧カメ  
ラの小型化が、スタジオの外に  
出ることを容易にした、⑧多人  
数型スタジオトーク(アメトー  
ーク)⑨再びスタジオに戻って

当時、ハンディで高性能なカ

メラH8が登場したことで、新  
企画として、猿岩石のユーラシ  
ア大陸横断ヒッチハイク(タレ  
ント2人とディレクターだけの  
旅)が可能になった。自分が旅  
行好きだったこと、沢木耕太  
郎の『深夜特急』に影響を受け  
たことから生まれたこの企画は、  
香港からロンドンまでをタレン  
トがヒッチハイクで旅するとい  
うもの。半年間、行ったきりに  
なるので、無名タレントでなけ  
れば使えない。つい応援した  
くなる企画」として人気が急上  
昇したが、ロンドンのゴールで、  
感動の結末を期待している視聴  
者をあえて裏切る展開を用意。

ゴール直後の猿岩石に、「この  
まま南北アメリカ大陸縦断ヒッ  
チハイクに出発するか、日本に  
帰るのか」と迫り、結局、猿岩  
石は苦渋のうちに帰国を選択し  
た。予想を裏切るこの結末に、  
日テレには抗議電話が1000  
本も来た。

## 冒険は勝っているうちにする

「8割の現状維持と2割の冒  
険」「冒険の9割は失敗に終わ  
るが、1本の成功が9本の損失  
を補う」という信条のもと、そ  
の後も次々に新しい企画や事業  
を展開してきた。

2001年 番組内の「いけ  
年こい年」という企画で、意図  
的に年越しの時刻を2分まちが  
え、たいへんなお叱りを受ける。  
2002年 CS放送 スター  
ト、2005年 第2日本テレ  
ビ(インターネット事業)スター  
ト、2012年LIFEVIDE  
O社スタート。

これらもみな、「今までにな  
いものを作りたい」の一念から  
生まれたものである。

新ビジネスは、テクノロジ  
の進化によって生まれる側面も  
大きい。依頼者の「個人史ビデ  
オ」を作成するLIFEVIDE  
O社の事業は、カメラの小  
型化・高画質化や、編集ソフト  
の進化により、作業コストが大  
幅ダウンしたことから可能になっ  
た。高齢化社会を迎えた今、映  
像業務経験豊富なスタッフが、  
テレビ局に保存されている膨大  
な過去のライブラリ映像を活用  
して作る同社のライブビデオは、  
人の心を動かす力を持っている。

## 企業にとつての最大のリスクは「挑まないこと」

これは、あらゆる業種に言え  
る。自分はいくらもテレビ局  
の中で、今までにない新しいも  
のに挑戦していきたい。

# なかなかやるじゃん! 同窓会準備雑感

91期 前川 系子

「関東同窓会?一度も出たことないけど」昨年春、一期先輩の90期の方々に呼ばれ、突然、「今年は91期が関東同窓会の副幹事、来年は幹事」と言われたとき、91期は戸惑いました。実は、私たちの期で関東同窓会に出席したことがある人はほとんどいませんでした。不安が先立つ我が期でしたが、幸い、90期作成の完璧な進行表や名札の雛形、名簿などを譲り受けることができました。

本年春から準備開始、まずは、クラスごとに幹事を募ることに。私たちはこれまで、定例の同期会すら開いたことがありません。まとまりのない期というイメージでした。しかし、呼びかけに応じて20名強の在京メンバーが幹事に名乗り出てくれました。

これは、他の期の時より多い人数だったようです。作業に入ってから、事務局との連絡係、受付、クロークや名札の準備、当日の進行表づくり、講師との打合せ等々、みな自主的に名乗りを挙げ、お互いを補う形で進んでいきました。普段はバラバラでも、やるときは自分の持ち場でパワー全開になる私たち。なかなかやるじゃん!

それにしても、今や企業の役員・部長クラスに就いている「男子」たちを、女子チームが「〇〇君、この名札、印刷して!あ、そのフォーマットだとうまくいかないでしょ」などと叱咤したり、「××君はクローク係を手伝って!」などときき使ったり。この光景はどこかで目にしたような。そう、仮装行列の時と似ています。そういえば、90期の方が、「準備は大変と思わず、仮装行列のノリで、楽しくね。」と仰っていました。

出席者については、いったいどのくらい集まるのか、ギリギリまで心配でした。昨年の講演会は、甲子園準優勝組の座談会で話題性があつたうえ、90期幹事の方々は、勧誘の電話だけでなく訪問までして、同期の出席を促したのと。そこまでする自信が私たちにはありませんでした。それでも、最終的に

は全体で200余名、同期で50名以上の参加となりました。大成功に気を良くした91期の面々。これからは他の期のように、年に一度は同期会を開こうと盛り上がっています。瞬発力は大いに発揮したものの、継続力は弱い私たちのこと、どこまで続くかはわかりません。しかし、高校時代に戻ったかのよう。今回の経験は、これからの糧になるだろうと感じています。



準備風景：本番2日前。名札づくり、配布資料詰め等を手分けしてこなす。



準備風景：当日。受付、クローク係も準備万端。



司会：竹田佳子さんはフリーアナウンサー。

## 2013年度 静中・静高関東同窓会役員名簿

	期	氏名		期	氏名
会長	82期	多賀谷 秀保	理事	86期	成岡 和美
	副会長	82期		青木 式	86期
監事	83期	久野 淑子	87期	高橋 宏	
	84期	杉山 順一	87期	石川 嘉和	
	89期	笠松 一久	88期	片山 秀	
	90期	山下 雅子	88期	谷口ひとみ	
	91期	藤嶋 善彦	89期	新村 暢宏	
	顧問	95期	寺本 匡俊	89期	牧野 尚夫
		77期	野方 重人	90期	深沢 英昭
	理事	82期	八牧 浩行	91期	鈴木 宏
		71期	浦田 彰	91期	菊池 保雅
		77期	栗田 收司	91期	土崎 弘子
79期		上田 尚亮	92期	日下 淳	
79期		野口 政明	92期	清水 篤	
80期		上出 和子	99期	尾高 泉	
82期		田畑 秀典	110期	久保田直之	
84期		松島 勤	114期	岩崎衣里子	
85期		竹田 満	119期	青山 亮介	
85期	増井 喜一郎	119期	渋谷 泰子		

2014年度関東同窓会  
総会・懇親会

7月4日に  
プレスセンターで開催!

平成26年(2014年)度の  
静中・静高関東同窓会総会・懇  
親会の日時と場所が決ましまし  
た。  
是非ご出席ください。

日時 2014年7月4日(金)

午後6時より

場所 日本プレスセンタービル

日本記者クラブ

10階大ホール

東京都千代田区内幸町2-2-1

(地下鉄・内幸町、霞が関、

虎ノ門各駅から徒歩2~5分、

JR新橋駅から徒歩10分)

式次第 総会、講演会、懇親会

多くの同窓会員の皆様、また  
就職を控えた学生OBの方々に  
も多数ご参集いただけますよう  
お願い申し上げます。講演会の  
内容など詳細は随時ホームペー  
ジ、会報でお伝えいたします。  
どうぞよろしく願っています。

(幹事期92期)

# エッセー

## たかが同窓会、されど同窓会⑦

### 帰りなん、いざ〜同期会の会場へ

71期 浦田 彰

台風一過、快晴の10月27日、

静岡・ホテル中島屋で71期の喜寿を祝う同期会が催されました。集まった面々は92名。駆けつけた関東勢は24名。古希祝いの集まりから久しぶりの同期会とあって、卒寿を越してお慶鑠たる吉川晴夫先生をお迎えして談論風発、時を忘れたひと時でした。

その詳しい報告は幹事の誰かが寄せる本部の会報に任せるとして、盛り上がる歓談の輪の中で、フト関東勢の何人かが真顔でこんなことを語り合いました。横浜から参加したN君「やっぱり静岡はいいなあ、ホットするよな」千葉の松戸からのF君「年齢80に近くなると無性に静岡が懐かしい、帰りたいなあ。」東京・杉並のS君「俺も、帰りたいな、でも両親はあの世だし、静岡には墓参りだけだよ」東京からS君「晩年は静岡に住みたいなあー、毎日富士山を眺めながら……」と関東勢はどうやら同じ思い。終の棲家は故郷の静

岡に、ということですが

大都市の高齢化が進み、かつての若いサラリーマン、つまり我々世代が汗水たらして我が物とした「庭付き一戸建て」は最早、もて余しもの。かく言う私も横浜の丘の上のささやかな戸建てに住んで50年、子は去り、戻らず。残った二人の行く先は……物置代わりの空き部屋でしばし思いに耽るこの頃です。結局、思案の行く末は、静岡へ帰りたいということ。この時代、大都市に住むおおかたの高齢地方出身者の心を揺り動かしているのは、都市脱出願望、ふるさと回帰衝動といえそうです。

北島三郎は歌います「帰ろかな」  
♪淋しくて言うんじやないが  
帰ろかな 帰ろかな  
恋しくて言うんじやないが  
帰ろかな 帰ろかな

私の職場仲間のことですが、例えば定年を待ちわびていた先

輩のA氏、さっさと郷里の秋田へUターン、町の教育委員などを勤め、半農半読の悠々自適を満喫とか、もっとも田園暮らしに憧れた奥方がご亭主の背中を押したと聞いています。後輩のB君、名古屋放送局で農事番組を担当、しっかり農業のノウハウをモノして名古屋郊外に土地を購入、今では奥さんの実家と共同で園芸農家として自立、実績を上げていくとか。また同期のC氏、縁もゆかりもない赴任した青森が何故か気に入って家をあげて移住、10年たった今では、地元NPOの世話役や市の何やら審議委員を歴任、もう元からの津軽人の顔になりました。

さて、喜寿を祝う同期会では、「住むなら閑静で便利な興津がいい。興津は日本一住みやすい土地だそうだ」「富士山を眺めて暮らせる用宗あたりが絶好だ」「牛妻がいい、街にも近いが猪狩りなんかもやれるそうだ」「イヤ、やっぱり街中だ。二番町あたりの小さなマンションでも……」などなど終の棲家のイメージはますます膨れ上がるばかりです。

松村和子も歌います  
♪茜の空で誓った恋を  
東京暮らして忘れたか

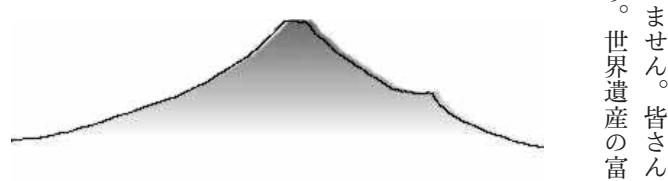
帰ってこいよ 帰ってこいよ  
帰ってこいよ

さば、さりながら、願望はとにかく、現実の問題となるとコトは厄介です。持ち家の処分はどうする？ ホントに静岡での理想の棲家は確保できるのか？ 家族は納得するのか？ コトは慎重に且つ果断に運ばねばなりません。まず、情報収集です。そこでお教えしましょう。例えば静岡県庁に「ふじのくに移住・定住相談センター」があります。このセンターの主催で去る11月16日東京の六本木で定例の相談会がありました。老後にUターンを希望する人たちに不動産情報、特に県内に散在する空き家・空き部屋を紹介するとか、移住後の居住環境についてのアレコレを説明するとか……ことほど左様に、静岡県としても故郷移住者歓迎を環境政策の柱として様々な施策を展開しています。活動の中心は県交流企画局交流政策課です。

どうです皆さん、心豊かな老後のために一歩踏み出してみては？ 同窓会も重要な情報源です。とりわけ静岡での同期会などは絶好の情報源です。同期生に不動産業とか建築業とか、す

でに念願を果たした同志とか……

帰去来今(帰りなん、いざ) 官を辞して故郷へ帰る陶淵明の長詩「帰去来」は続きます。  
田園将蕪胡不帰  
既自以心為形役  
……  
「さあ帰ろう 故郷が荒れようとしていゝ いままででは生活の為に心を殺してきたが、もう悲しんではない、今までは間違っていたのだ これからは自分の為に 未来を生きよう 道に迷ってもそう遠くにはないから」  
ふるさと静岡は決して荒れてはいません。皆さんを待っています。世界遺産の富士山とともに。



静中・静高関東同窓会

異業種交流会

次回は1月10日 楽しく有意義に

次回第7回異業種交流会を2014年1月10日(金)午後6時半から、東京・内幸町の日本プレスセンター(日本記者クラブ)9階で開催いたします。奮ってご参加ください。

「何でも相談し合える出会いの広場」を合言葉に毎回大勢の静中・静高同窓生とご家族に参集いただいております、次回で早くも7回目。老若男女が集うざっくばらんな会としてすっきり定着しております。

(詳しくは「静中・静高関東同窓会」ホームページご参照)  
080-3010-8724 (事務局 笠松一久)  
FAX 03-3257-0820

(静中・静高関東同窓会事務局)

計報

博覧強記だった畏友・鈴木明朗氏

64期 吉井 駿 亮

今年(平成二十五年)の初夏、畏友・鈴木明朗氏(64期)を弔った。何にしろ、十日ほど後に、関東在住の同期生が寄り集まって酒を酌み交わし、旧交を温めることになっていたのである。あり得べからざることが起ってしまった事実には衝撃を受けた私は、しばし茫然自失し、何に對してというわけではないが、無性に口惜しさが込み上げてきた。氏との交友は静岡中学に入学した時から数えれば、かれこれ

70年に近い。中学も高学年になり、敗戦後の世の中もやや落ち着いてきた頃、氏は、卓球部に所属して、同部の何人かとの折、音楽が縁で、私もその一員となった。類は友を呼ぶのである。これを契機に、家も近いこともあって、氏との友情は急速に深まっていった。私は氏の豊かな知識、巧みな話術、端正な行動に忽ち魅了され、尊敬の念さえ抱いたものである。

その後、益々親密さが深まるにつれ、氏の行動に相反する二つの面(性格の二面性とでもいうか)が混在することに気づいてきた。例えば紳士ではあるが、道化師でもある。謙虚ではあるが、自慢話も好き。細心であるが、大胆でもあり、儉約家であるが、浪費家でもある。その振る舞いは端正ではあるが、奇矯な行動も多い。等々。人間誰しもこんなものであるが、どうも、氏の場合はそれが極端で、そこに、氏の魅力が潜んでいたのかもしれない。

若かりし頃、氏はよく静岡の街を徘徊していた。私もよくつきあわされたものである。ある夜、清水公園の山頂で、凧揚げを手伝わされたことがある。夜の凧揚げはあまり気持ちの良いものではないが、氏は一人悦に入っていた。大晦日の夜を、三保の海岸で過ごしたこともあった。こうした氏の奇矯な行動で、尊敬の念もやや薄まるのであるが、今にして思えば、堅苦しい銀行勤めの憂さを晴らしていたのかもしれない。惻隱の情も湧いてこようというものだ。

氏のおかげで私も一寸挙げただけで、鳥取の鮭、能登の「このわた」、霞ヶ浦の鴨などを味わうことができた。こんな時、氏の几帳面さは見事である。冊子や電話で乗り物の時間から、宿、料亭を調べ上げ、旅の計画を練り上げる。別れ際にはすべての支出を記録した紙切れ(手帳ではない)を取り出して集計し、カッチリと二つに割って請求してくれた。私としてはまことに気楽で、さすが元銀行だわい、と感心したものだ。

遊学中の氏を訪ねて、私は何度か上京したものである。さぞ勉強の邪魔だっただろう。上京の度、必ず行ったのが寄宿であった。当時は名人上手と言われる

落語家がひしめいていたが、彼らの芸を直接寄宿で聴いた落語ファンはもう残り少ないだろう。今また一人逝ってしまった。しかし何ととっても私の人生で、氏との交友が最も繁げくなったのは、定年退職後であった。氏のの人となりを一言で表すのに最も適切な言葉は、博覧強記であろう。自分の専門分野に限らず、あらゆること、あらゆるものに興味を示し、貪欲に知識を蓄えていた。私も度々聞かれ返答に窮したものである。

氏が自慢していたものに鼻がある。一つは生理的な、香りを嗅ぎ分ける能力だ。ヨットマンだった時、風が来るか来ないか風の臭いで分かったという伝説がある。伝説などと書いたので、あちらで氏が怒っているだろう。もう一つは美味しい物を食べさせる店を鼻で嗅ぎ分け、見つけ出すことである。不思議な才能の持ち主だった。思いつくまま想い出を綴ってきたが、とてもこの紙面では述べきれなかった、諸々の氏の私に對する厚情を思い起こすと、ふつつつと感謝の気持ちが増えあがってきて、涙で目も潤む。生前にはとても照れくさくて伝えられなかった感謝の気持ちを、今、改めて捧げよう。明朗よ、ありがとう。

計報

敦ちゃんのおい出

79期 小川 郷太郎

暑い夏がようやく終わった9月下旬、静岡3年のとき同級生だった北川(旧姓)敦子さんが逝った。古希を前にした早過ぎる死がとても悔やまれる。

いつも愛らしい笑みを湛え、話をしていると、こちらでも自然とニコニコしてしまうほどの敦子さんを我々は敦ちゃんと呼んでいた。ちょっと小柄だけどもゴムまりのように元気なエネルギーをいつも心と身体の中に秘めていた人だった。

3年の時、敦ちゃんとマユミさん(旧姓土屋)と私の3人がA F Sの試験に受かってアメリカの高校に1年留学した。その縁でその後も、「どうしているかな」と気にかける存在だった。

卒業後は減多に会う機会はなかった。敦ちゃんが20歳で結婚して在学中のICU(国際基督教大学)を中退したことを聞き、やっぱり情熱的な人なんだなと思ったことがある。

9月28日の葬儀では、牧之原市の多くの人たちが弔辞で敦ちゃんを偲んだ。地元の町長を経て静岡県議を務められている政治家の御主人をずっと支え、義母の介護にあたり、地域の赤字奉仕事業の委員長も務められたという。アメリカ留学の経験へのお礼なのか、A F S静岡支部長を永年努めて、海外や日本の高校留学生の支援にも尽力した。この間地域の子供たちに英語を教え、その中から、ご自身のお嬢さんを含め、何人か生徒を海外留学に送ったとも聞いた。3人のお子さんと7人のお孫さんに恵まれて

幸せな家庭生活を送られたようだ。弔辞では3人のお孫さんが「あっちゃん」と呼んで、優しかったおばあちゃんの思い出を涙ながらに語った。優しさで情熱を貫いて生きた敦ちゃんのお人柄があらためて強く脳裏に蘇った。昔懐かしい満面の笑顔を湛えた遺影を見詰めなおし、心からご冥福を祈った。



アメリカ留学前の一九六一年七月に取材に来た静岡新聞が撮影。前列右が北川敦子さん、左端が筆者。後列真ん中が敦子さんのお父さんの北川教頭。その右が諏訪校長。

関東同窓会費納入のお願い

関東同窓会は会員の会費(年間3千円)で運営されており、同窓会会費の集まりは多いとは言えませんが、同窓生、同期生に声を掛け合い、ご協力をお願いいたします。同封されている郵便局振込用紙をご使用ください。

編集後記

◆今号は「総会特集号」となりました。多くの同窓生が楽しいひと時を共有した総会当日の感動が甦りますね。講師の土屋敏男氏をはじめとする幹事期91期の皆さんのご尽力に感謝します。

◆静岡・静高関東同窓会は67期関東同期会から七万七、二八三円の寄付金を拝受いたしました。ありがとうございます。その経緯など詳細は次号会報で報告いたします。

◆記事・写真の投稿、大歓迎です。今号の編集に当たっては、書籍編集のプロ、土崎弘子氏(91期)のご協力を得ました。次号以降も斬新な企画等を提案していただきます。

◆会長として3年間、務めさせていただきました。何とか任期を全う出来たのも関東同窓会の諸兄弟のおかげと深く感謝いたします。新会長の多賀谷秀保氏(82期)を先頭に、静岡・静高関東同窓会が楽しく有意義な会としてさらに発展するよう祈ります。(八牧浩行)

石(墓、石碑)のことなら (株)イシフク

- 望月 威男 (77期)
- 熊野雄二郎 (84期)
- 望月 茂樹 (101期)
- 望月 秀康 (107期)

〒421-1224 静岡市葵区飯間 71  
TEL 054-278-6610

関東の人に紹介したい良い環境

八王子 東京霊園

〒193-0826 東京都八王子市元八王子町  
TEL 0426-61-6734

○お墓、石碑、建材、石のことなら気軽に相談ください。

## 鈴 与 株 式 会 社

取締役社長 鈴木与平 (76期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1  
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)  
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-25-3  
ビリーヴ大森5F  
TEL 03 (6404) 2100

## 日本レーベル印刷株式会社

代表取締役会長 岩井平一郎 (57期)

本 社 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田3丁目1番1号  
TEL 054 (262) 1111(代)  
東京支社 〒104-0031 中央区京橋1-1-6 越前屋ビル8F  
TEL 03 (3272) 4651 (代)

工業用油剤の輸出入から、皮膚保護クリーム<sup>さなる</sup>の製造まで。

## 株式会社 佐 鳴

会長 杉本 哲 (64期)

本社/工場 横浜市戸塚区上矢部町2091-19 〒245-0053  
TEL 045(811)9311(代) FAX 045(811)9319  
東戸塚分室 横浜市戸塚区前田町503-17 佐鳴ビル  
海外事務所 中国 上海市  
E-mail : sugimoto@asnaru.co.jp  
URL : http://www.sanaru.co.jp/

お茶の心を伝える

## 愛 国 製 茶 (株)

代表取締役会長 馬場 泰男 (64期)

本 社 東京都新宿区西早稲田3-7-9 TEL 03-3207-1611(代表)  
高田馬場店 東京都新宿区高田馬場4-12-7 TEL 03-3363-6611(代表)

建築・不動産活用、アート活動などのご相談はどうぞ

## ArchitectS Office & Gallery

一級建築士 石川雅英 (94期)

若いクリエイターの支援活動をしています

〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16-16  
T 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 5  
F 03 - 5 8 4 7 - 7 7 8 8  
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp  
w w w . r v s t o n e . c o m

24時間! ニュースを通じて「世界平和」に貢献する

## Record China

日本最大の中華圏情報サイト(日本語)

## Record Japan

中華圏最大の日本情報サイト(中国語)

代表取締役社長・主筆 八 牧 浩 行 (82期)

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館905  
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

同窓会で人の輪を!!

## 野方重人法律事務所

弁護士 野方重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3  
敷下ビル6F  
(TEL) 03 (3251) 2348  
(FAX) 03 (3257) 0820

\*昼2時より夜11時まで診療\*

## 医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 <sup>フナシマ</sup> 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩5分  
TEL 0120-376-480  
FAX 03-3710-8847  
〒153-0051 目黒区上目黒2-18-13

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

## 鳥巢修税理士事務所

税理士 鳥巢 修 (89期)

OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17  
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848  
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

おくすりのこと、健康のこと、相談できる調剤薬局  
全国250店舗以上のネットワーク

## 株式会社 アイセイ薬局

医療・福祉・介護で日本を笑顔に

代表取締役 岡村幸彦 (93期, 応援指導部)

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2  
TEL 03-3240-0222 FAX 03-6212-4193  
http://www.aisei.co.jp